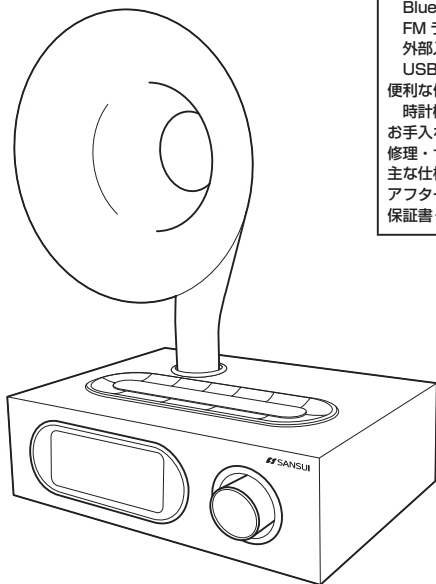


取扱説明書・保証書

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあとにもいつでも見られるように大切に保管してください。





も く じ



安全上のご注意	P. 2
ご使用になる前に	P. 4
各部の名称とはたらき	P. 5
使用前の準備	P. 6
正しい使いかた	P. 9
通常の操作	P. 9
Bluetooth 機器を聴く	P. 10
FM ラジオを聴く	P. 12
外部入力を聴く	P. 14
USB 端子で外部機器を充電する	P. 14
便利な使いかた	P. 15
時計機能を使う	P. 15
お手入れのしかた	P. 18
修理・サービスを依頼する前に	P. 18
主な仕様	P. 19
アフターサービスについて	裏表紙
保証書	裏表紙

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保管してください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。)





図記号の意味と例

	⊘は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグ (ACアダプター) をコンセントから抜くこと」を示します。)

警告

 禁止	交流100V以外では使用しない。 電圧の違うところ・自動車・船舶などの直流電源には接続しないでください。 火災・感電の原因になります。	 禁止	雷が鳴り始めたら、ACアダプターに触れない。 感電の危険があります。	 指示	電池からもれた液が目に入ったときは、こすらずに水で洗い流し、医師の診察を受ける。 失明や目に障害を負う恐れがあります。	
	日本国内以外で使用しない。 本機は日本国内専用です。		本機に対してスプレー式のエアダスターを使用しない。 本機の内部にガスがたまった場合、引火して爆発する原因になります。		取りはずした電池の扱いに注意する。 幼児の手の届かないところに保管してください。電池を口に入れたり、ショートさせたりすると事故の原因になります。	
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだりしない。 火災・感電の原因になります。		湿度の高いところ、水蒸気が多いところ、湿度が高いところ、直射日光が当たるところ、屋外、振動の多いところに設置しない。 火災・感電・故障の原因になります。		使用しないときは、必ずACアダプターをコンセントから抜く。 絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。	
	電源コードが傷んでいるとき、本体のDCプラグの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。		ろうそくなど、炎が出るものを近くに置かない。 炎が近づくと、火災の原因になります。		 プラグを抜く	
	ACアダプターを、乳幼児の手のとどくところに置かない。 コードが誤って首に巻きついたりして事故の原因になります。		異常時(けい臭い・発煙など)はACアダプターを抜き、使用中止する。 火災・感電の原因になります。 ACアダプターをすぐに抜くことができるように、容易に手が届く位置のコンセントを使用して設置してください。		 分解禁止	お手入れのときは、安全のためACアダプターをコンセントから抜く。 感電・火災・けがの原因になることがあります。
	子供だけで使用させない、また幼児の手の届くところでは使わない。 けが・感電の原因になります。		ACアダプターはコンセントの奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・発火の原因になります。			分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 火災・感電・けがの原因になります。 修理は販売店またはドウシヤカスタマーセンター(裏表紙参照)にご相談ください。
本体のすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。	ACアダプターは刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合は拭き取る。 ホコリが付着したままACアダプターを差し込むと、ショート・火災の原因になります。	 ぬれ手禁止	ぬれた手で、ACアダプター、DCプラグを抜き差ししない、操作しない。 感電の原因になります。			
強い衝撃を与えたり、本体を落下させたりしない。 衝撃を与えたときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、点検修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因になります。		 水ぬれ禁止	水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 本機の上に水の入った容器や桶水鉢などを置かないでください。 ショート・感電の原因になります。			

⚠️ 注意

 <p>禁止</p>	<p>次のようなところでは使わない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ガスコンロなど炎の近く ●引火性のガスがあるところ ●雨や水しぶきがかかるところ ●ほこりの多いところ <p>変色・変形・火災・感電の原因になることがあります。</p>	 <p>禁止</p>	<p>お手入れのときは住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。</p> <p>変色・変形・感電・故障の原因になります。</p>	 <p>指示</p>	<p>廃棄するときは、電池を抜く。</p> <p>そのまま廃棄すると、思わぬ事故の原因となります。電池は各地方自治体の指示に従って処分してください。</p>
	<p>熱のこもりやすい狭い場所、自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない。</p> <p>キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災や感電の原因になります。</p>		<p>上にものをせたりしない。</p> <p>内部に入ったとき、感電や火災・故障の原因になります。</p>		<p>音量に注意する。</p> <p>使用前には音量を最小にするようにし、使用中も音量を大きくしすぎないように注意してください。長時間、耳を刺激する大きな音量で聴き続けると、聴力に悪い影響を与えます。</p>
	<p>不安定な場所・傾斜のある場所で使わない。</p> <p>転倒や落下で、けが・故障の原因になることがあります。</p>	 <p>指示</p>	<p>電池の極性に注意する。</p> <p>電池をセットするとき、電池の+（プラス）と-（マイナス）に注意し、正しく入れてください。電池の破裂や液もれにより、火災・けが・故障の原因になることがあります。</p>		<p>接続に注意する。</p> <p>本機の入力端子へ接続した機器の過大信号によっては、本機を傷めたりすることがあります。正しい接続をしてください。</p>
	<p>指定以外の電池を使用しない。</p> <p>電池の破裂や液もれにより、火災・けが・故障の原因になることがあります。</p>		<p>ACアダプターを抜くときは電源コードを持たずに必ずACアダプター本体を持って抜く。</p> <p>感電・ショート・電源コードの断線の原因になることがあります。</p>		<p>持ち運びするときはACアダプターや外部機器を取りはずして、本体の下部を持って移動する。</p> <p>けが・故障や外部機器の破損の原因となります。</p>
	<p>電池は直射日光が当たる場所など高温になる場所に置かない。</p> <p>液もれや破裂・火災などの原因となります。</p>		<p>長時間使用しないときはバックアップの電池を抜く。</p> <p>長時間入れたままにしておく、液漏れによって内部を汚したり、破裂による火災やけがの原因になります。</p>		

ご使用になる前に

Bluetoothについて

Bluetooth(ブルートゥース)

本機はBluetoothの無線技術・ワイヤレスシステムを搭載しています。対応するプレーヤー、携帯電話などの音楽をワイヤレスで聴くことができます。

電波に関する注意事項

本機の使用周波数帯では、産業・科学・医療用機器などのほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)などが運用されています。

- ・本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- ・万が一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに電波の放射を停止してください。

通信について

・Bluetooth対応のマウスなどのパソコン関連機器と、ヘッドホンなど音楽機器を同時に使用すると、音が途切れたりすることがあります。

・本機などのBluetooth機器は無線LAN機器(IEEE802.11b/g/n)と同じ周波数帯(2.4GHz)を使用するため、近くで使用すると電波障害を同時に発生させて、通信速度低下や接続不能になることがあります。このような場合は、Wifiの使用周波数を変更するか、できるだけ離して(10m程度)使用します。

- ・本機はすべてのBluetooth機器と接続を保証するものではありません。また接続するまで時間がかかるものがあります。
- ・Bluetooth機器どうしの接続で、対応する規格、周波数帯域、プロファイルの種類などによって接続できないことがあります。

安全にご使用いただくために

Bluetooth機器が発する電波は、電子医療機器などに影響を与えることがあります。場合によっては事故をひきおこすことでもありますので、以下のようなところでは持ち込まない、または電源を入れないようにしてください。

- ・病院など医療機関、電車・航空機
- ・自動ドアや火災報知機の周辺
- ・心臓ペースメーカー、医療用電子機器の近く

Bluetooth機能を搭載したセットを改造して使用したときは電波法に抵触します

本機は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等を受けており、その証として「㊟ 技適マーク」が本機の貼付シールに表示されています。改造すると、技術基準適合証明が無効となります。無効状態で使用すると、電波法に抵触しますので絶対に改造しないようにお願いします。

Bluetooth機能は日本国内で使用してください

本機のBluetooth機能は、日本国内での無線規格に準拠し認証を取得しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。

BluetoothおよびBluetoothロゴは米国Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。

そのほか商品名/社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。

Bluetooth部仕様

適合規格	Bluetooth Ver4.2
通信出力	Class2
使用周波数帯域	2.4GHz 帯 (2.402 ~ 2.480GHz)
変調方式	G FSK.
プロファイル	A2DP AVRCP
対応コーデック	SBC
通信距離*	(見通し) 約 10 m *
同時接続台数	1 台
記憶可能ペアリング台数	1 台

* 通信距離は目安です。周囲の環境により距離が変わることがあります。

お使いのBluetooth機器によっては接続できないことがあります。詳しくはお使いのBluetooth機器の説明書をご確認ください。

ボタン電池について

ボタン電池を扱 指定以外のボタン電池は使用しない。
うときはは

- ・極性表示を間違えないで挿入する。
- ・水や火の中に入れたり、充電・加熱・分解・ショートしない。
- ・液漏れがおきたら使用しない。
- ・ボタン電池はもちろん、本体も液が付いた状態で使用する危険なため、直接触れず拭き取るようにしてください。万が一、液が体が付いてしまった場合は、水で十分に洗い流すようにしてください。
- ・長時間使用しないときは、ボタン電池をはずしておく。
- ・使用後は、必ず各自自治体の指示に従って処分する。

FM補完放送について

FM補完放送 (ワイドFM)

- ・AM放送の放送区域において難聴・災害対策のため、FM放送の周波数(従来の76.1~89.9MHz、新たに設定された90.0~94.9MHz)を用いて、AM放送の補完的な放送をしています。

本機はFM補完放送に対応しています。

※FM補完放送を実施している放送局、周波数、聴取エリアなどは地域によって異なります。詳しくは各地域の放送局ホームページなどを確認してください。

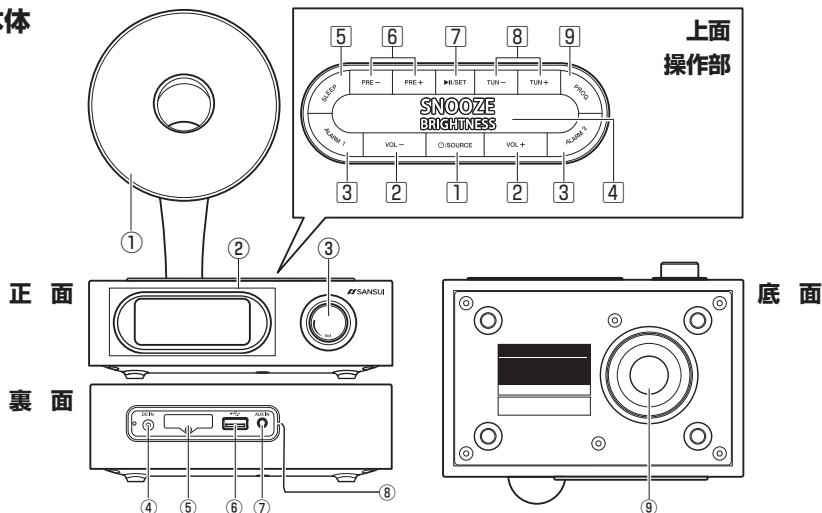
免責事項について

お客様、または第三者が、この製品の誤った取扱・故障・その他の不都合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

製品の故障・誤動作または不都合による外部機器等への記録された内容の損害及びお客様または第三者が製品利用の機会をのしかたために発生した損害等、随時的損害の補償については、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

各部の名称とはたらき

本体



名称	機能
正面部	
① ホーンスピーカー	中高音の音声を再生します
② ディスプレイ	時計表示など各種情報を表示します
③ 音量つまみ	音量の調節をします
上面操作部	
① 〇/SOURCEボタン	電源の入/スタンバイとモードを切り替えます 電源をスタンバイ状態にする場合は長押しをします
② VOL+ VOL-ボタン	音量の調節をします
③ ALARM 1 ALARM 2ボタン	アラームタイマーを設定するときに使用します
④ SNOOZE/BRIGHTNESSボタン	ディスプレイの明るさを3段階で変更でき、また消灯することも可能です。アラームタイマー動作時に押しとラジオ/プザーが止まります。9分後に再度ラジオ/プザーが鳴ります（スヌーズ機能）
⑤ SLEEPボタン	スリープタイマーを設定するときに使用します
⑥ PRE+ PRE-ボタン	プリセットされたラジオ局を選局します
⑦ ▶ /SETボタン(再生/一時停止/SETボタン)	音楽の再生/一時停止をします。各種設定の決定(SET)をします
⑧ TUN+ TUN-ボタン	ラジオの選局に使用します
⑨ PROGボタン	ラジオのプリセットを行なうときに使用します
裏面部	
④ 電源入力端子	付属のACアダプターを接続します
⑤ バックアップ電池ホルダー	バックアップ用電池が収納されています
⑥ USB端子 (充電専用)	外部機器への給電ができます。出力:DC5V/1A ※ 本機のUSB端子はメディアプレーヤー機能はありません
⑦ AUX端子	外部機器の接続に使用します
⑧ FMアンテナ	TUNER (FM) を聴くときに伸ばして使用します
底面部	
⑨ ウーファースピーカー	低音を再生します

使用前の準備

梱包部品一覧

お買い上げ後、同梱の部品を確認してください。

本体.....	1 個
AC アダプター.....	1 個
取扱説明書（保証書含む）.....	1 冊

バックアップ用電池（CR2032）動作確認用
（* 本体に装着済）..... 1 個

バックアップ電池の準備

本機には、時計用のバックアップ電池が装着済みですので、本体裏面の絶縁フィルムを引き出してご利用ください。

※ 付属の電池は動作確認用です。新品の電池と比べて短時間で寿命になります。

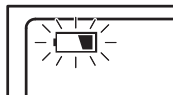
バックアップ電池の交換

バックアップ電池が消耗すると AC アダプターをコンセントから抜いた場合に現在時刻がリセットされます。

バックアップ電池の残量が少なくなると、ディスプレイの左上に電池マークが点滅します。

その場合は新しい電池に交換をしてください。

【交換用電池：CR2032】

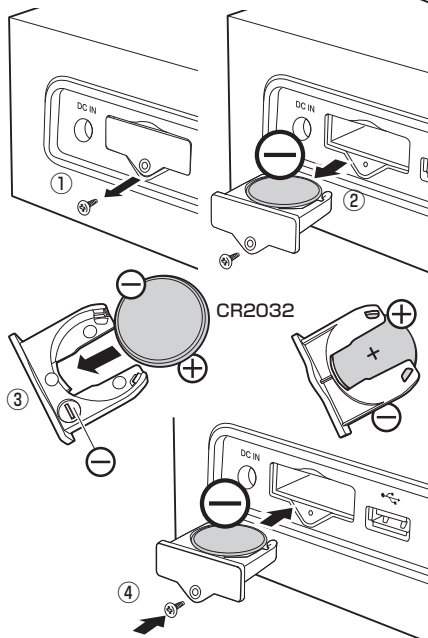
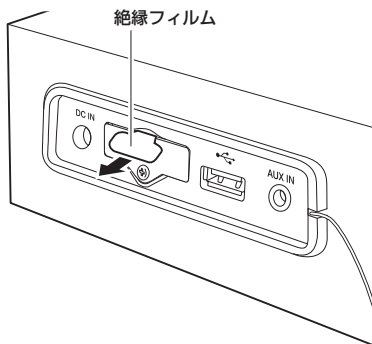


電池交換のしかた

- ① 本体裏面のバックアップ電池ホルダーの固定用ネジをお手持ちのドライバーではずす
- ② バックアップ電池ホルダーを引き抜く
- ③ 電池の⊕⊖に注意して新しい電池に交換する電池の上下に注意して取り付けてください
- ④ バックアップ電池ホルダーを差し込み、固定用ネジを取り付ける



電池の誤飲防止として、電池ホルダーの固定用ネジは必ず取り付けてください。



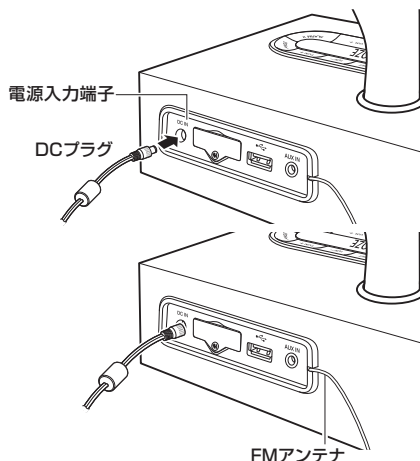
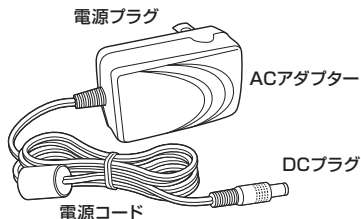
ACアダプターの取り付け

1. 本体裏面の電源入力端子に付属のACアダプターのDCプラグを差し込んでACアダプターの電源プラグをコンセントに差し込む

通電すると、本体のディスプレイに「---:---」が点滅表示されます。



- 電源コードは必ず先に本体側端子に接続してから、電源プラグ (ACアダプター) をコンセントに差し込む。
- 長時間使用しないときは電源プラグ (ACアダプター) をコンセントから抜く。火災、事故などの原因になります。
- めれた手で電源プラグ (ACアダプター) を扱わない。感電、火災、故障の原因になります。
- バックアップ電池が消耗した状態で、電源プラグ (AC アダプター) をコンセントから抜くと、時計表示がリセットされます。



FM アンテナの使いかた

1. 本体裏面のFMアンテナをのぼして、受信しやすい方向に設定する

詳細は「FM ラジオを聴く」(➡ 12 ページ)

現在時刻を設定する

以下の手順で時計を合わせてください。

- 時刻を設定するとアラームタイマー機能が使用できます (➡ 15 ページ)。

1. スタンバイ状態で操作部の▶II/SET ボタン⑦を長押しする

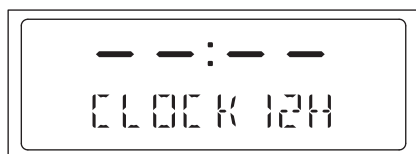
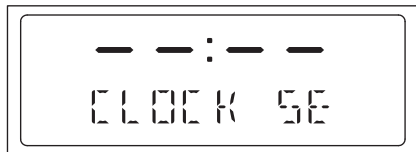
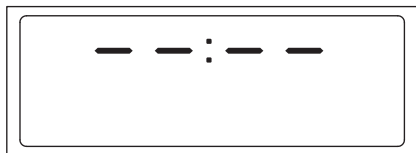
ディスプレイに「CLOCK SET」と表示されます。

2. PRE+ PRE-ボタン⑥またはTUN+ TUN-ボタン⑧で12時間表示または24時間表示を選び、▶II/SET ボタン⑦を押す

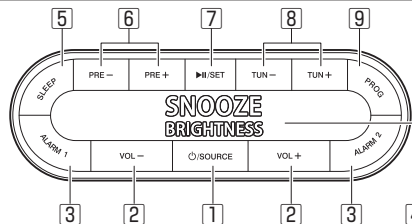
12 時間表示 「CLOCK 12H」

24 時間表示 「CLOCK 24H」

- ※ 12 時間表示では午後を設定されているときは「PM」が表示されますが午前には表示されません。午前と午後が正しく設定されているかご確認ください。



使用前の準備 (つづき)



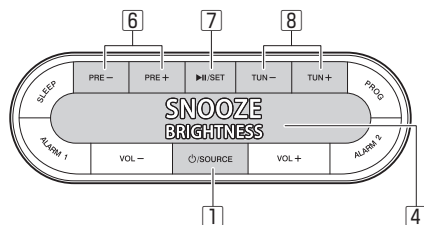
- ① 〇/SOURCEボタン
- ② VOL+ VOL-ボタン
- ③ ALARM 1 ALARM 2ボタン
- ④ SNOOZE/BRIGHTNESSボタン
- ⑤ SLEEPボタン
- ⑥ PRE+ PRE-ボタン
- ⑦ 〰/SETボタン(再生/一時停止/SETボタン)
- ⑧ TUN+ TUN-ボタン
- ⑨ PROGボタン

3. PRE+ PRE-ボタン⑥またはTUN+ TUN-ボタン⑧で「時」「分」「年」「月」「日」を設定して、〰/SETボタン⑦を押す

- ・「時」を設定後、〰/SETボタンを押すと次の設定(「分」「年」「月」「日」)をすることができます。
- ・「日」を設定後、〰/SETボタンを押すと設定が確定し、時計機能が開始します。

※ 設定をやめるときは〇/SOURCEボタン①を押します。

※ 90秒以上無操作状態が続くと時刻の設定がキャンセルされます。



注意
バックアップ電池が消耗した状態で、電源プラグ(ACアダプター)をコンセントから抜くと、時間がリセットされます。再度設定が必要になります。

オートパワーオフ

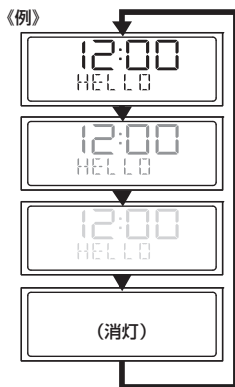
本機はBTモードで再生を一時停止しているとき、またはBTモードで未接続時に15分以上操作しないと自動的に電源をスタンバイ状態に切り替えます。

ディスプレイの明るさを調節する

ディスプレイ表示をお好みの明るさに変更することができます。

1. SNOOZE/BRIGHTNESSボタン④を押す

SNOOZE/BRIGHTNESSボタンを押すたびにディスプレイ表示の明るさが変化します。3段階で変更でき、消灯することもできます。



SNOOZE
BRIGHTNESS

SNOOZE/BRIGHTNESSボタンを押すたびに表示の明るさが変化します

正しい使いかた

通常の操作

1. 電源/SOURCEボタン①を押して電源を入れる

ディスプレイに「HELLO」と表示されます。

2. 本体の音量つまみ、またはVOL+VOL-ボタン②で音量を調節する

音量が5以下で電源を入切すると、音量5に戻り、音量が12以上で電源を入切すると、音量12に戻ります。



注意 電源投入直後、本機では既に音量が設定されているので、十分注意する。

3. 電源/SOURCEボタン①でモードを切り替える

ボタンを押すと、TUNER(FM) → AUX IN → BT → TUNER(FM)とモードが切り替わります。

・接続している機器によって、モードの切り替えに、(音を出すまでに)時間がかかることがあります (BTモードなど)。

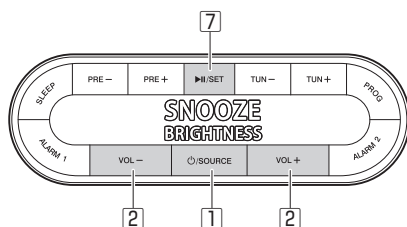
4. 聴き終わったら、電源/SOURCEボタン①を長押ししてスタンバイ状態にする

- ・スタンバイ状態ではBluetoothの接続は切断されます。
- ・スタンバイ状態のとき、時計表示の下に「月-日」が表示されます。▶II/SETボタン⑦を押すと「年」が表示されます。

5. 長期間使用しないときは本体の電源プラグ(ACアダプター)をコンセントから抜く

電源プラグ(ACアダプター)をコンセントに接続したままにすると、実際使用しなくても、少なからず電力は消費されます。

※電源プラグを抜いても、バックアップ電池によって時計とアラーム時刻などは保存されます(最大約6か月)。



〈例〉



正しい使いかた(つづき)

Bluetooth 機器を聴く

Bluetooth 機器の設定

- Bluetooth デバイスの接続設定をすることを「ペアリング」といいます。
 - ペアリングするときは、両方の機器を 1m 以内に置いてペアリング設定をしてください。
 - 本機は一度に 1 台の Bluetooth 機器しか接続できません。
- 本機は以下の手順で Bluetooth 機器と接続（ペアリング接続）することができます。

Bluetooth 機器との初めての接続

1. ペアリングしたい Bluetooth 機器の電源を入れる

Bluetooth 接続モードにしておきます。

2. /SOURCE ボタン で BT モードに切り替える

ディスプレイに「BT」が表示されます。
BT マークが点滅します。



3. 接続する Bluetooth 機器のサーチ機能进行操作して、本機の製品名「MSR-5」を検索する

検索が完了すると、接続する外部機器のディスプレイに「MSR-5」が表示されますので、それを選択し「ペアリング」を開始します。

※ ペアリング接続・設定方法は、お使いの Bluetooth 機器の取扱説明書をご覧ください。

※ PIN コードを要求された場合は、4桁の数字「0000」を入力してください。

4. 接続が成功すると信号音が鳴り、ディスプレイに「BTマーク」が点灯表示される



5. 接続がうまくいかないときは、/SET ボタン を長押しする

BT マークが点滅します。もう一度最初から接続しなおしてください。



本機は SCMS-T に対応していません。
接続する Bluetooth 対応機器が SCMS-T 対応のときは、ご使用になれないことがあります。
詳しくは Bluetooth 対応機器の取扱説明書をご確認ください。

Bluetooth 機器との 2 回目以降の接続

ペアリングをした Bluetooth 機器は、自動的に接続されます。再接続されないときは、「Bluetooth 機器との初めての接続」の手順に従って再度接続してください。

※ 接続する Bluetooth 機器によっては、自動的に接続されないことがありますが、本機の故障ではありません。

Bluetooth 機器の音楽を聴く

Bluetooth 機器の音楽をワイヤレスで楽しむことができます。

1. 「Bluetooth機器との初めての接続」の設定・ペアリングを行なっておく

2. 本機とBluetooth機器が接続していることを確かめる

Bluetooth 接続されているときは、ディスプレイに「BT マーク」が点灯表示されます。未接続のときは「BT マーク」が点滅表示されます。

※ Bluetooth 機能の接続、切断操作につきましては、お手持ちの外部機器の取扱説明書もあわせてご確認ください。

3. 本機に接続したBluetooth機器で再生を始める

本体操作部で Bluetooth 機器のコントロールができます。

※ 接続した Bluetooth 機器の音声出力レベルにも注意してください。出力レベルが小さい場合は正しく再生されないことがあります。

別の Bluetooth 機器との接続

別の Bluetooth 機器を本機に接続したいときは、現在接続されている機器の接続を切断してください。本機は一度に 1 台の機器しか接続できません。

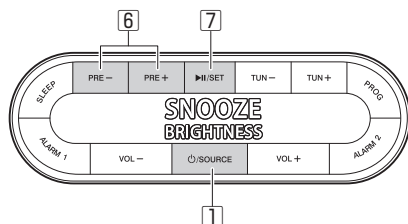
1. 接続していた外部機器の Bluetooth 機能をオフにする

外部機器に表示されている、本機の製品名「MSR-5」の接続を解除します。

2. 別の外部機器と「Bluetooth機器との初めての接続」を行なう

3. 接続できないときは、▶II/SET ボタン [7] を長押しして、再度「Bluetooth 機器との初めての接続」を行なう

※ Bluetooth 機能の接続、切断操作につきましては、お手持ちの外部機器の取扱説明書もあわせてご確認ください。



本機の操作部で操作できるBluetooth機器の機能	
▶II/SETボタン	再生/一時停止
PRE-ボタン	一曲戻し
PRE+ボタン	一曲送り

このコントロールする機能は、Bluetooth の AVRCP プロファイル対応機器との接続時のみ機能します。

※ AVRCP プロファイル対応機器でも、このコントロールに対応しない機器や、対応するコントロールであっても、コマンドを送信する方法によって正常に機能しない機器があります。

正しい使いかた (つづき)

FM ラジオを聴く

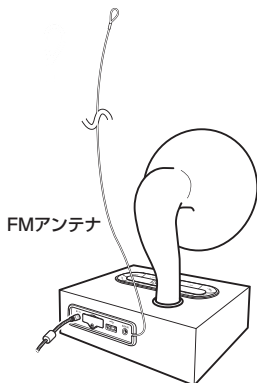
FM アンテナの使いかた

FM ラジオを聴く前に FM アンテナを設置してください。

1. 本体裏面にある FM アンテナを引き伸ばし、高さや方向を変えて受信状態が一番良い位置を探す
2. FM アンテナの先端を適当な位置で固定する



FM アンテナの先端は、移動するときには必ず取りはずす。
取り付けたまま移動などをすると破損したり、思わぬけがをすることがあります。



FM ラジオを聴く

本機は FM ラジオ放送を聴くことができます。
76 ~ 108MHz の受信ができ、FM 補完放送 (ワイド FM) に対応しています。
受信状態が悪いときは、本体裏面の FM アンテナの向きなどを調節してください。

1. **φ/SOURCE ボタン** **1** で TUNER モードに切り替える

ディスプレイに「TUNER」が表示されます。

2. **《自動プリセット》 PROG ボタン** **9** を長押しする

ディスプレイに「AUTO」と表示され、自動プリセットが開始します。

ディスプレイに「MEMORY COMPLETE」と表示され、自動プリセットが終了すると、プリセット番号 01 の放送局が選局されます。何もプリセットされなかったときは、ディスプレイに「PAUSE」と表示されたあと、76MHz が選局されます。

自動プリセットするときの注意

- ・プリセットする前に、窓際などの電波状態の良いところへ移動させてよりよい受信状態できるようにしてください。
- ・プリセットするのは日曜深夜などは避けるようにしてください。放送されていない局があり、本来受信できるはずの局を受信できないことがあります。

《例》



《例》



- ・プリセット中は、他の操作はできません。
プリセット終了まで操作するのはお待ちください。

3. プリセットされた局を聴くときは、PRE+ PRE-ボタン⑥でプリセット局を選局する

《自動選局》

1. TUN+ TUN-ボタン⑧を長押しする

- ・自動選局が始まったら指を離してください。
- ・放送局を受信すると自動的に止まります。

《手動選局》

1. TUN+ TUN-ボタン⑧を短く押す

ボタンを押すたびに0.1MHz周波数が変わります。

- ※電波が弱く、自動選局が自動で止まらないときは手動選局を行なってください。

《放送局の手動プリセット》

1. プリセットしたい放送局を選局したあと、PROGボタン⑨を押す

PROG ボタンを押すと、プリセット番号が点滅します。

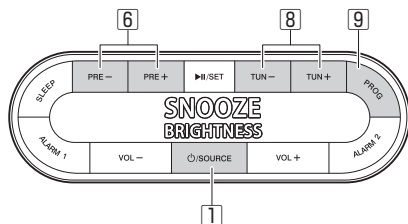
2. 左の2ケタ数字（プリセット番号）点滅中に▶II/SETボタン⑦を押してプリセット完了させる

プリセット番号を任意の番号に変更したい場合は、プリセット番号点滅中にPRE+ PRE-ボタンで変更することができます。

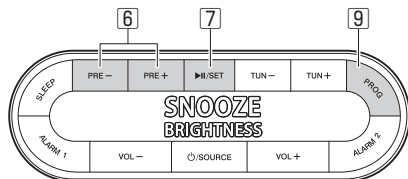
指定したプリセット番号に放送局が登録されます。

- ※既に登録されているプリセット番号を指定したときは上書きされて新しく設定した放送局になります。

プリセットは最大20局まで可能です。



《例》



《例》



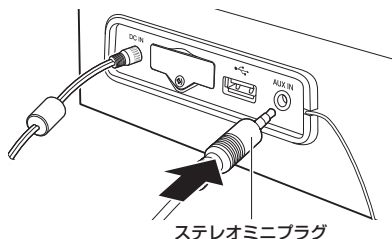
正しい使いかた (つづき)

外部入力を聴く

デジタルオーディオプレーヤーなどの外部機器をAUX端子に接続し、本機のスピーカーから音声を出すことができます。

1. 本体裏面のAUX端子に外部機器を接続する

- 接続コードは接続する外部機器に合った市販品をご購入ください。
- 本機のAUX端子はステレオミニプラグ端子です。

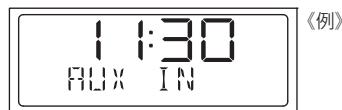


2. 電源/SOURCEボタン①でAUX INモードに切り替える

3. 外部機器を再生状態にする

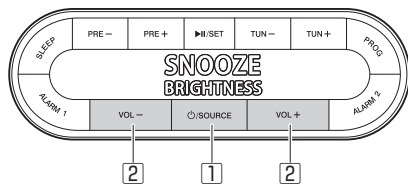
※ 外部機器の音声出力レベルを適正に調節してください。

4. 本体の音量つまみまたはVOL+VOL-ボタン②で音量を調節する



注意

- 外部機器の接続・取りはずしのときは必ず音量を最小にする。
- 外部機器の取扱説明書を確認し、正しく接続する。
- 外部機器の音量を調節できる機器では、適切な音量に設定して使用する。他のモードの音とさほど変化のない音量に設定してください。大きく違った音量に設定されていると、モードを変更するたびに音量を設定しなおす必要があります。



USB端子で外部機器を充電する

USB 充電機能

本機のUSB端子でスマートフォンや携帯電話の充電をすることができます。

出力：DC5V / 1A

充電をする場合は、充電される機器の電圧／電流に適合しているかご確認の上、ご使用ください。

※ 本機のUSB端子はメディアプレーヤー機能はありません。

誤使用によるUSB端子に関する免責事項

1. 本製品の使用・使用できなかったことなどから生じる付随的な損害、弊社が関与しない機器の組み合わせによる誤動作などから生じた傷害に関して弊社は一切の責任を負いません。
2. 天災・自然災害、第三者による事故、お客様の故意または誤使用、異常な条件下での使用、本書に記載している内容を守らない使用により生じた損害に関して弊社は一切の責任を負いません。

便利な使いかた

時計機能を使う

本機は、内蔵時計を利用して便利に使うことができます。

スリープタイマーを使う

設定した時間後に電源を切る（スタンバイ状態）ことができます。

1. 電源が入っている時にSLEEPボタン⑤を押してスリープタイマーを設定する

ディスプレイに「SLEEPOFF」が表示され、SLEEP ボタンを押すたびに「SLEEP」の右側が OFF → 120 → 90 → 60 → 45 → 30 → 15 → OFF（単位は分）と切り替わります。

スリープタイマーが設定されると、ディスプレイの右上に[SLEEP]マークが点灯します。

電源が切れる 1 分前になるとディスプレイではカウントダウンが 60 から始まります。「SLEEP-○」

設定した時間後に電源が切れます。

2. 再度設定するときや、キャンセルするときは、SLEEPボタン⑤を押して「SLEEP」の右側の数値を変更する

SLEEP ボタンを押して、数値を設定しなおします。

- ・スリープタイマーをキャンセルするときは、OFF に設定します。

アラームタイマーを使う

本機は 2 パターンのアラームタイマーを設定することができます。

ALARM1・ALARM2

設定した時間に、設定したモード（TUNER(FM) / BUZZER）の音を、設定した音量で再生することができます。

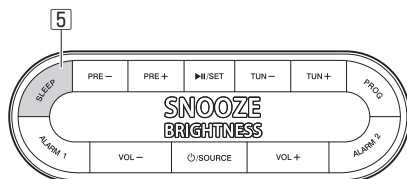
※BUZZER を設定した場合の音量変更はできません。

※ALARM1 と ALARM2 を同じ時間に設定したときは、ALARM1 が優先になります。

※アラームタイマーを同じ時間帯で使用するとき、後のアラームが優先になり、先に動作したアラームはスヌーズ機能が解除されます。

アラームタイマーを使う前に…

- ・現在時刻の設定をしてください（➡ 7 ページ）。



スリープタイマー OFF（キャンセル）



スリープタイマー 120 分

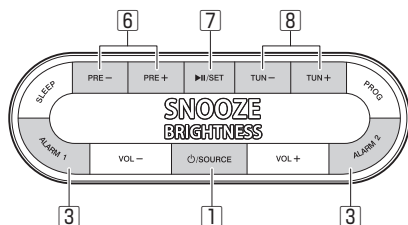
便利な使いかた (つづき)

1. ALARM1/ALARM2のどちらかのボタン③を長押ししてアラームタイマーを設定する

「ALARM SET」と表示されます。ベルマークが点滅します。

ALARM1のベルマークは「🔔」、ALARM2のベルマークは「🔔」です。

※アラームが動作中、スヌーズ機能が動作中はアラームタイマーを設定することはできません。



2. PRE+ PRE-ボタン⑥またはTUN+ TUN-ボタン⑧で、TUNER/BUZZERのどちらかを選び、▶II/SETボタン⑦を押す

BT、AUX INは設定できません。

TUNER (FM) に設定したとき

・最後に選局したFM局の音声が流れます。

3. PRE+ PRE-ボタン⑥またはTUN+ TUN-ボタン⑧でアラームタイマーの「時」「分」を設定して、▶II/SETボタン⑦を押す

・「時」を設定後、▶II/SETボタンを押すと「分」を設定することができます。

・「分」を設定後、▶II/SETボタンを押す。

※設定をやめるときは○/SOURCEボタン①を押す、または90秒以上そのままにしておきます。

4. TUNERを選択した時はPRE+ PRE-ボタン⑥またはTUN+ TUN-ボタン⑧で再生したい音量を設定して、▶II/SETボタン⑦を押す

・アラームタイマーが実行されたとき音量は設定した音量まで徐々に大きくなります。

・設定したALARMボタンを押して、ディスプレイにアラームを設定した時間とモードが表示されたら、設定完了です。

※アラームタイマーを設定すると、毎日同じ内容で動作します。



〈例〉



〈例〉



〈例〉



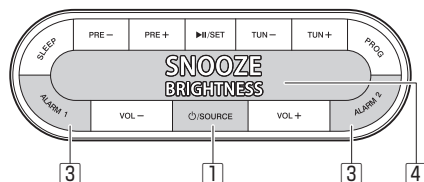
- 設定するモードに気をつける。
- 耳の近くでの使用は避ける。
- 近隣の迷惑にならないように注意する。

アラームタイマーの入切

1. 設定したALARMボタン③を押す

アラームを設定した時間とモードの表示中に、ALARM ボタンを押すとアラームタイマーが設定され、もう一度押すとアラームタイマーの設定が解除されます。

- アラームタイマー設定時はディスプレイにベルマークが点灯します。
- タイマー設定をオフとした場合は、ディスプレイのベルマークが消えます。



アラームを止める（スヌーズ機能を使う）

1. アラームが動作中にSNOOZE/BRIGHTNESSボタン④を押す

- 9分間隔でアラームが動作するスヌーズ機能が付いています。
- スヌーズ機能が動作中はディスプレイにベルマークが点滅し、次のアラーム動作までの残り時間が表示されます。「SN ○ MIN」、「SN ○ SEC」

アラームを完全に止める（スヌーズ機能を解除する）

1. アラームが動作中もしくはアラームが止まった状態で、 ϕ /SOURCEボタン①、または設定したALARMボタン③を押す

2. スヌーズ機能が解除され、スタンバイ状態になります

お手入れのしかた



お手入れの際は、必ず電源プラグ（ACアダプター）を取りはずす
感電・火災・けがの原因になります。

お手入れ

本体の木製部分は天然木の突板使用のため、水拭きはしないでください。汚れたときは、柔らかい布で軽く乾拭きしてください。ディスプレイやボタン部分の汚れがひどいときは、水を含ませた布をよく絞り、拭き取ったあとは乾拭きしてください（樹脂部分は強くこすらないでください。傷つきの原因となることがあります）。



- ベンジン・シンナーでは拭かない。
変色や変形の原因になります。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従って使用する。
変色・キズの原因になります。
- 本体に水をかけたりしない
感電・故障の原因になります。

ウーファースピーカーについて

ウーファースピーカーは直接指で押さえたりしないでください。

保存のしかた

長期間使用されないときは、十分にお手入れをして、ボタン電池を取りはずして保存してください。

修理・サービスを依頼する前に



修理技術者以外の方は分解や修理をしない。

「故障かな？」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
共通部		
電源が入らない ディスプレイが表示されない	• ACアダプターがはずれている • ディスプレイが消灯になっている	ACアダプターの接続を確認する SNOOZE/BRIGHTNESS ボタンでディスプレイの明るさを変更する
スピーカーから音が出ない	• ϕ /SOURCE ボタンで目的のモードに設定されていない • 音量が最小になっている	ϕ /SOURCE ボタンで目的のモードに切り替える 音量を調節する
時計がリセットされる	• バックアップ電池が消耗している	新しい電池に交換する
電源が自動でオフになる	• オートパワーオフ機能	本機では BT モードで再生を一時停止された状態または BT モードで未接続の状態ですら 15 分以上操作しないと電源が自動でオフになります（⇒8ページ）
正常な動作をしない		一度電源プラグを抜いて接続しなおす
ラジオ部		
雑音が入る	• テレビなどが近くにある • 電波状態が悪い	テレビなどから離す 窓際などで試してみる FMアンテナの長さや方向を変更してみる

症状	主な原因	処置
外部入力部		
音が小さい 音がひずむ	• 外部機器が正しく接続されていない	外部機器の取扱説明書を確認して、正しく接続する
	• 接続している機器の音量が小さい、または大きい	接続している機器の音量を調節する
Bluetooth部		
音が出ない	• Bluetooth機器との距離が長い	近くで使用する
	• 無線LAN や電子レンジ、無線機器などの影響を受けている	影響しそうな機器の使用をやめてみる
	• 正しくペアリングされていない	もう一度ペアリングしてみる
	• SCMS-Tの送信	本機はSCMS-Tに対応していません
映像機器とつなぐと、映像より音が遅れる	• Bluetoothの通信遅延	状態によってBluetoothでは若干遅れることがあり、映像と音声を一致させるにはAUX端子に音声を接続する
ペアリングできない	• Bluetooth機器との距離が長い	より近づけてペアリングしてみる
	• Bluetooth機器側の問題	電源など十分に確保してから試してみる 外部機器の取扱説明書をご確認ください
	• 先に別のBluetooth機器が接続されている	別のBluetooth機器が接続されていないか確認する

主な仕様

仕様

電源	ACアダプター AC100V 50/60Hz 出力 DC9V 1.0A
実効出力 (RMS・THD10%)	10W
USB端子出力	DC5V 1A (充電専用)
Bluetooth	Ver4.2 Class2 プロファイル A2DP AVRCP コーデック SBC (SCMS-T 非対応)
チューナー	FM: 76 - 108MHz
スピーカー	36mm フルレンジ + 50mm ウーファー
外部入力端子	ステレオミニプラグ (AUX) 1系統
外形寸法	本体 : (約) 幅 170 × 高さ 220 × 奥行 137mm
質量	約 0.8kg

- 仕様等は改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

長年ご使用の製品はよく点検を

このような症状はありませんか？

- 電源コードや AC アダプターが異常に熱い。
- コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- こげ臭い匂いがする。
- その他の異常・故障がある。

このような症状のときは、事故防止のため、すぐに電源を切り、コンセントから AC アダプターを抜いて、必ず販売店またはドウシャカカスタマーセンターに点検をご相談ください。

株式会社 **ドウシシャ**

〈東京本社〉〒108-8573 東京都港区高輪2-21-46

〈大阪本社〉〒542-8525 大阪府大阪市中央区東心斎橋1-5-5

■故障・修理についてのご相談に関しては…

⇒ **ドウシシャ福井家電 カスタマーセンター** 【受付時間】9: 00～ 17: 00(土日祝以外の月～金曜日)

〒915-0801 福井県越前市家久町41-1

TEL 0778 (24) 2779 FAX 0778 (24) 2799

※ 製品名、品番をご確認のうえ、お電話をいただきますようお願い致します。

※ FAXもしくは、お電話をいただいた際にお話いただく情報は、お客様へのアフターサービスにおいて利用させていただきますので、ご了承ください。